

[第 31 回例会報告]

1. 参加者数：272名（学生会員15名含む）
2. 講演件数：30件
 - チュートリアル：2件
 - 特別講演：3件
 - 依頼講演：4件
 - 一般口頭発表：17件
 - 一般ショート口頭発表：4件
3. 今回の例会を振り返って（運営委員長：石井 久夫 千葉大学）

今回の例会は、新型コロナウイルスの感染拡大のため、オンライン開催となりました。有機 EL 討論会は、有機 EL 関係の技術者・研究者のみなさんに face to face での交流・情報交換の場を提供するところに意義があるので、リアル開催の可能性も残した形で開催準備をすすめましたが、結果的にはオンラインとなってしまいました。運営側としてもオンライン開催は初めての経験であり、他学会での実施例を調べ、ノウハウを学びながらなんとか開催にこぎつけることができました。お手伝いくださった関連の方々はこの場を借りて御礼申し上げます。

春の例会が中止になり、2020 年度としては 1 回しか例会が開催されないことを踏まえて、すこしでも有益な情報を会員の皆様に提供できるように、今回は 3 日間の拡大開催とし、春の例会で実施できなかったセッションやチュートリアルなども含めてプログラムを編成させていただきました。おかげで、272 名の参加登録者を得て開催することができました。

特定セッションとしては、イオン化エネルギーや電子親和力などの材料の電子構造に関するセッション、ペロブスカイトを用いた発光素子に関するセッションを開催しました。電子構造に関しては、千葉大学の吉田弘幸先生に、チュートリアルと特別講演で基礎から丁寧に解説いただき、また、イオン化エネルギーを実測する立場から物材機構の柳生進二郎先生、理研計器の中島嘉之氏に講演いただき、計測方法、解釈方法についても議論することができました。ペロブスカイトに関しては、九州大学の松島敏則先生にチュートリアルと依頼講演をしていただき、初期のころのペロブスカイト LED の話から現在までの研究をご紹介いただき、当該分野の第一人者であるソウル大学の Tae-Woo Lee 教授に特別講演を、山形大学の千葉貴之先生にもペロブスカイトナノ結晶を用いた LED の研究などを発表いただき、有機 EL の競合分野の現況を知ることができました。また、3 日目には、Tianma Japan の松枝洋二郎氏に「有機 EL ディスプレイ最新技術開発動向 ～中国・韓国・台湾・日本の技術開発力比較～」と題して特別講演をいただきました。今日が離せない中国の有機 EL シーンに関する話から、各国の比較まで、松枝氏のアジアを渡り歩かれた経験や、また、日本にノーベル賞受賞者が多いことに関連した技術者の育て方の話など、示唆に富んだお話をいただきました。

一般講演においては、解析/評価、電子注入、材料・プロセス、材料・デバイス、TADF デバイスといったセッションで様々な報告がなされました。スピン反転を介した新原理のフォトンアップコンバージョンに関する新しい提案や、近赤外発光素子の生体センシング応用、チャンバー内のキラー不純物の話、高効率高耐久性の青色発光などの発表が行われ、様々な改良・飛躍の要素が有機 EL にあることが感じられました。

発表主体をみてみますと、前回例会報告でも書いたように、依然として、大学サイドからの講演が多数を占めているという傾向は変わっておりません。企業側からの発表が難しい状況だとは思いますが、ぜひ、発表を検討していただきたいと思います。直接のアウトプットの話は難しくとも、有機 EL における諸課題の提案、コメントでも結構です。例会の開催要領にもありますように、「論文のオリジナリティーは必ずしも求めない」とあります。コミュニティで検討すべき問題点などご提案いただくと助かります。

アンケートについては今回 24 名の方から回答をいただきました。取り上げるべきテーマ、運営上の問題な

ど、頂いたコメントは参考とさせていただきます。また、今回のオンライン開催に関しては、「移動が無い為、参加するに当たりハードルが下がり、参加し易くなりました。」「会員の皆様との対面が無い為、会の実感や有意義性が薄く感じました。」といったご意見、コロナ収束後も一部オンラインを取り入れた開催などのご提案もいただいたので、検討してまいりたいと思います。運営委員会としては引き続き、有機 EL の最新動向に関連するトピック、及び有機 EL の素子開発や評価・基礎物性などの講演を募って、会員の皆様の研究開発に生かして頂けるような例会を目指していきたいと考えております。よろしくお願い致します。

4. 例会プログラム・アンケート結果

<http://www.yuki-tohronkai.jp/meeting-list.htm> : 例会開催一覧

5. 次回例会の開催案内 (副実行委員長: 田中 泰三 (ソニー株式会社))

第32回例会は、新型コロナウイルスの状況を踏まえて、2021年7月1日(木)、2日(金)に、千葉大学で開催の予定ですが、感染状況が改善すれば現地開催とし、好転しない場合は、オンライン開催(またはハイブリッド開催)と致します。詳細については、追ってお知らせ致しますので、どうぞ奮ってご投稿およびご参加下さい。

=====以上